

テーマ：『 理科への関心を高め、科学的な思考を促す教材と指導の工夫 』

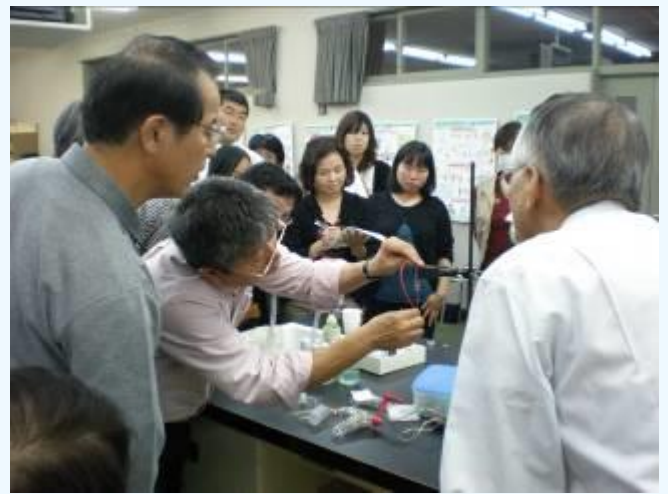
北九州市中学校

事務局：

Tel. 093-321-3788 担当者： 山本 浩三

理科教育研究協議会

北九州市立早鞆中学校



■実践内容：

新学習指導要領移行措置への対応及び福岡県中学校理科研究会北九州大会の授業提案に向けて、本市の中学校理科教員に広く参加を呼びかけ、本年度3回の研修会を行った。研修会の内容としては、「いのちのたび博物館」の資料をもとに化石採集及び地層剥ぎ取り標本作り等の教材作成研修会、研究大会に向けての授業作り検討会、大学教授を講師に招いて新しい理科指導の在り方について学ぶ実技講習会を実施した。この研修会で作成した自作教材や学んだ指導方法等を生かし、各中学校で第1学年「大地の変化」、第2学年「電流とその利用」「化学変化と分子・原子」、第3学年「運動とエネルギー」「化学変化とイオン」の各単元において授業実践を行った。その後、各実践の成果と課題について持ち寄って改善点等についての意見交換を行った。

■実践成果：

新学習指導要領移行措置に当たり、移行教材として追加された内容等の指導方法や実験教材の開発について学ぶ研修会を開催してほしいとの要望が強く、その声に対応する研修会を実施することができた。研修会に参加した教師は、自校で自作教材を活用し自信をもって指導に当たることができ、生徒の理科への関心を高め、科学的な思考を促すうえで非常に効果的であったとの実感を得ている。また、11月実施予定の福岡県中学校理科研究会北九州大会の授業提案の骨子及び教材開発を行うことができたことも、この取組の成果として挙げる事ができる。

■実践ポイント：

学習指導要領改訂の主旨を踏まえ、研修会で開発・作成した教材を使った授業実践を行った。特に、観察・実験場面では、生徒一人一人が自分の思考活動の中で観察・実験が行えるように実験器具等を工夫、準備すること。分析・考察・表現の場面では、自分の考えをもつ時間を十分に確保し、個から班、班から全体へのまとめていく話し合い活動をしっかり行わせること。以上のことに留意して各中学校で実践した。